詫間中学校学校通信
浦島伝説
平成22年4月19日
第 4 号

「はい、喜んで」

新しい年度が始まって約２週間が過ぎました。始業式、入学式に始まり、新しい学級での委員・係の決定、部活動紹介、新入生・進級テストや学習状況調査・・・、本当に忙しい毎日です。そんな中で、生徒たちは新しい志で何事にも全力で取り組んでくれています。まさに毎日が「Re・TAKUCHU　PROJECT」です。

一方、生徒たちの応援団である先生方も負けてはいません。授業や部活動の指導はもちろん、年度初めの様々な書類の作成、テストの採点・処理、ＰＴＡ総会や修学旅行の準備など、朝早くから夜遅くまで頑張っています。新しく来られた藤川幸一先生、詫間克久先生、川原久幸先生、横田知美先生、横田那奈子先生、大西由美先生も、すっかり詫間中学校にとけ込み、それぞれの場所で持ち味を発揮されています。

今年、先生方の間で心がけていることがあります。それは、何かを頼まれた時は、「はい、喜んで」と快く引き受けようということです。生徒指導主事の高橋先生がよく言っている「やりたくなくてもやらなければならないこと」にあてはまるかもしれません。学校は組織であり、みんなで助け合って協力しなければならないからです。例えば、ある先生が急な用事で出張したり、休んだりした場合、代わってだれかが授業をしなければなりません。毎朝、教務主任の高井先生が時間割変更をされていますが、急に頼まれても、ほとんどの先生が快く引き受けてくださっています。これがチームワークの証しです。

実は、この言葉、お寿司屋さんでよく聞く言葉です。「ハマチください」「はい、喜んで」、「鮪(まぐろ)ください」「はい、喜んで」、・・・「あがりください」「はい、喜んで」など、注文をすると必ず「はい、喜んで」という言葉が返ってきます。この言葉にたいへん感動したプロ野球読売ジャイアンツのラミレス選手が、今年ホームランを打った時のパフォーマンスとして、「ヨロコンデ」と叫んでいることも話題になっています。

先日の昼休み、中庭で吹奏楽部の演奏がありました。小雨にもかかわらず、大勢の生徒たちがまわりを取り囲み、演奏を聞いていました。すると、３年生の一部の男子が、音楽に合わせて踊り始めました。手拍子や歓声が湧き上がり、大いに盛り上がりました。音楽を通じて、心がひとつになっている光景に感動しました。後で聞くと、彼らは、音楽に合わせて踊ってほしいと頼まれたとのことですが、きっと「はい、喜んで」の精神で快く引き受けたのでしょう。

人から何かを頼まれた時は、「はい、喜んで」と快く引き受けることによって、お互いがとてもいい気持になります。たとえ、それがあまりやりたくないことであっても、どうせやるなら笑顔を添えて「はい、喜んで」と言ってやってみませんか。「はい、喜んで」は、みんなが幸せになれる魔法の言葉なのです。

◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇　お知らせ　◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

■　昨年度末に完成した詫間中学校マスコットキャラクター「カメ太郎」の誕生を記念して、右のようなクリアファイルを作成し、全校生徒に配付しました。早速、学校からのプリント類をはさむファイルとして、活用している生徒もいるようです。この浦島伝説も、カメ太郎ファイルに入れられて家庭に届けられているのですね。

■　入学式の日、早くから体育館で待つ１年生の保護者のみなさんに、マチcomiメールの登録をお願いしました。その場ですぐに登録していただいた方もいて、本年度の１年生の登録者数は９０名(約７５%)となりました。また、全校でみると、約６割の方が登録していただいていることになります。今後いつでも自由に登録できますので、まだの方はぜひお願いします。